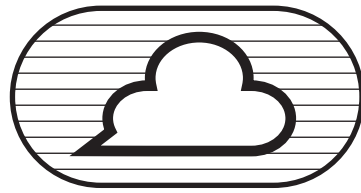


回復兆しも踊り場続く

ヨーグルト



くもり

右肩上がりの成長を続けてきたヨーグルト市場だが、17年度に続き、18年度上期も踊り場が続いているようだ。表は今期を含む過去5年度の第1四半期の家計調査結果。17年度と比べ、支出金額こそ前年割れとなったが、購入頻度は前期を上回るなど回復の兆しも見え始めている。今上期は「ヨーグルトファースト」がメディアで取り上げられ、メーカーも「第1四半期から勝負に出る」

家計調査2018年第1四半期

年度	購入頻度	支出金額	購入世帯数
14	1,198	2,910	7,936
15	1,264	3,071	8,037
16	1,355	3,518	8,158
17	1,319	3,400	8,076
18	1,344	3,380	8,089

※購入頻度は100世帯当たり
※購入世帯数は10,000分比

と期初から大型新商品を続々投入。成長路線回帰に向けた業界の動きも活発化したが、ほぼ前年並みでの折り返しとなった模様。